

# Digital Camera 倶楽部

APR 2024  
Vol.037

## 新年度の始まり

ランドセルを背負って母親に手を引かれての入学式は、何十年前のことだったろうか。校庭に植えられた巨木は見事な満開。こんなシーンが浮かんでくる昨今ですが、年々早くなっている桜の開花時期が今年は気温の低い日が続き何十年か前の入学式に合うような咲き方になりそうですね。

真鶴半島 岩港を見下ろす



横浜外人墓地 近くより 横浜市内を望む



ちょっと変わったフィルター使用  
素通しの○部分と放射状部分のあるフィルター



笹原虎夫のページ

身近な花



木漏れ日の  
福寿草

スノーフレーク



ミモザ  
3月8日は  
国際婦人デー

## 身近な鳥



メジロの隠遁の術

地上で餌探しの  
メジロ



ペアリング前の  
カワセミ

鈴木義則のページ

## 奇妙な風景

撮りためた写真ですがトリミングをしてみると思わぬものが出てきました。



秋も深まった公園の駐車場、風が強かったために落ち葉が舞い上がりダンスそのものでした

門柱の上に置いたインコの餌に飛びつく雀、けんかを始めたり体よく逃げたりで面白い

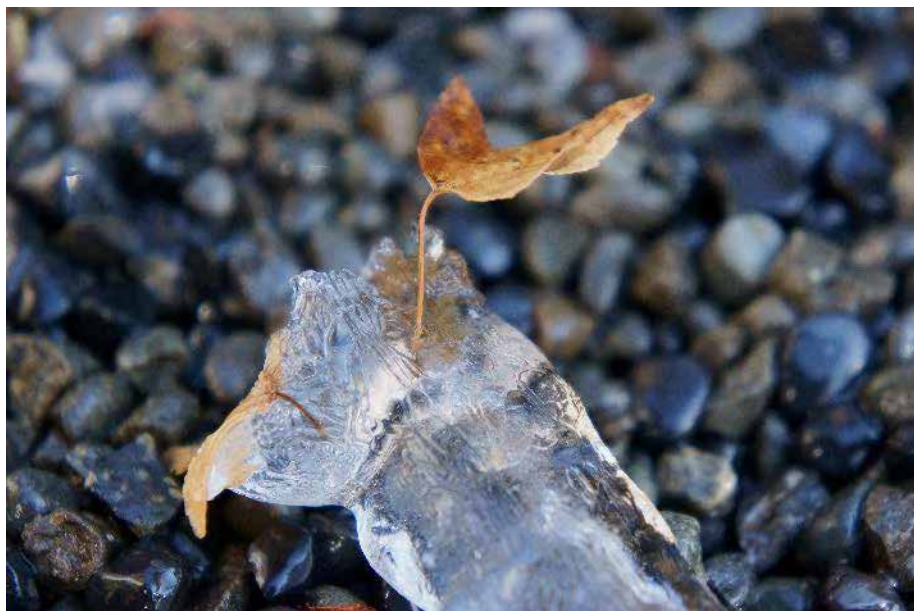


ヤツデの花の蜜を吸うハエ、口先が結構奥まで届いている



相模川小倉橋近く  
にあったボート、そ  
の大きさに比べて  
碇のなんと大きい  
ことか

芝桜を見に来た人々、数の  
多さでシバ桜の絵模様の一  
分になってしまった



角の生えたつらら、「氷虫」  
と名付けようか



気味悪がられる「ヤモリ」  
漢字で書くななら「家守」、  
立派な益虫（爬虫類）で、  
ありがたい存在

ある晴れた日の日本  
丸の周辺、これだけ  
の人が乗り込んだら  
沈みそう



目白の餌にと置いたり  
ンゴ、ここまで食べる  
のか

鈴木瑠美子 のページ

## 「福島の冬」

2000 代年から 2015 年頃にかけて写していた写真です。今では暖冬のためかこの頃の面影も減り実家の周りで積もった雪を見ることはほとんどありません。



福島に向かう東北道白河付近、安達太良山には雪がありますが道はきれいでした

福島市の郊外には雪が残り吾妻山もきれいに雪化粧していました



田に残った雪はその溶け方で様々な表情をしています



実家の前の道、白人が居ないので塀際は大きな雪だまり



庭も雪に埋もれてしまい処置なし

そんな中でも日当たりの良いところにあったボタンだけは芽を出していました





2017年頃の「阿武隈川」の河川敷、まだ鳥インフルエンザも無く、たくさんの渡り鳥が来ていました

羽ばたきをするオオハクチョウ、他の鳥には迷惑



羽を休める渡り鳥は10種類以上とか、私には数えきれません

長谷川 進のハーツ

R6-3月 古民家のひな祭り  
(厚木市岸亭)



↑ 西陽の祭壇  
↓ 欄間  
見返り美人 →

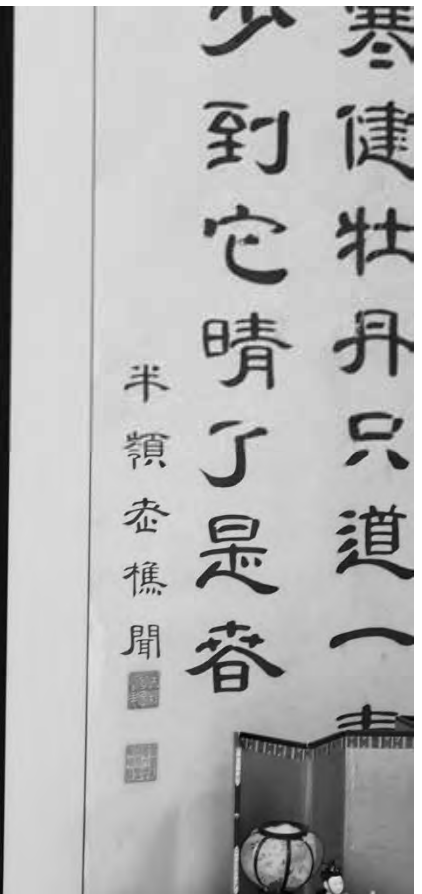




↑ 庭見台

電燈 ↑

↓ 文字屏風



別府 2024 - 3月

庭にて







細川隆雄 撮影のページ

令和6年3月

春の息吹を感じる季節







# 上田良光のページ

宮ヶ瀬湖畔 晩秋から冬 昼と夜の風景へ イルミネーションで賑わう





昼の静寂から夜の華やかさに輝く一瞬





日本一の縦ノ木はライトアップツリーへ





夜になると明るく輝き踊りだす



金井寿雄のページ



鴻巣市

ひな祭り

今年の干支 龍





蕪山反射炉



## 金井陽子のページ

**鴻巣市：エルミこうのすショッピングモール**：31段 7mの日本一高いピラミッドひな壇です。3階から1番上が見えました。

木目込み人形のおひな様もありました

**花久の里**：交響楽団は、木目込み人形のおひな様が和楽器を持っていて、ラフマニノフ・ピアノ協奏曲大2番を演奏中・・・何故クラシック曲が流れているのか納得しました。







**花久の里・六角錐ひな壇**：竹細工と花火大会・足湯・野球等を雛人形で演出してあり、幼児がおままごと遊びを始めたのも、楽しさが伝わったのかもしれない。

**産業観光館・雛の里「景観重要建造物」**：明治期築造の蔵の中で、日本一大きな内裏雛とつるし飾りは趣があり、綺麗でした。

幼児の人形は、柔らかい灯りに照らされて、今にも動き出しそうでした。不思議な空気感がありました。



伊豆 韮山反射炉：反射炉の隣の茶畑でポーズをとってくれた猫。富士山は、かすんでいたが何とか写せました。急な茶畑を目指して良かったです。

